

栃木中央地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年5月21日（火）午後1時30分～2時00分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 14名

事例提供者1名、サービス提供事業者3名、助言者6名、
包括職員2名、傍聴者2名

原因不明の呼吸苦の訴えがあり、意向が定まらない82歳の女性

〈目標〉1日:生活動作や移動は無理なく転倒しないよう注意する。マイペースで過ごす。セルフリハビリは気持ちいい程度に行う。

1年:心身機能を維持し、今の生活がより良く続けられる。

利用サービス:訪問型サービス、通所型サービス、訪問看護(リハビリ)、福祉用具貸与

《生活全般の解決すべき課題》

- 左股関節骨折の後遺症と筋力低下、加齢に伴う筋力低下による動作や歩行が不安定である。
- 原因不明の呼吸苦や脳梗塞後遺症から気分の波があり、言動に混乱が見られ、生活の支障になっている。

《助言者からの助言内容》

- 第三者が主治医とやり取りをして情報を理解し、支援者で共有できると良い。
- オーラルフレイルや黒毛舌が考えられる為、歯科受診し検査などを行った方が良い。
- マイナンバーカード等を活用すれば、併用薬が確認できる可能性がある。
- 残存機能やできている事に着目し、具体的な目標設定をして、それに向けてリハビリをしてはどうか。
- 栃木県のフレイル保健指導で使用している資料を参考に食生活をチェックできれば、客観的に判断ができる。
- インフォーマルサービスを情報提供し、他者との交流や生活意欲向上に繋がると良い。



• 主治医や関係者と情報共有し、メンタルの安定が図れるよう支援する。

☆地域課題(地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等)

独居高齢者への地域の人からの声掛けや見守り